



館山市議会議員

第16号 令和5年7月23日発行

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ

皆様方のお力添えにより、館山市議会議員として2期目の活動を始めることができます。子育て支援、高齢者支援、環境問題、まちづくりなど様々な課題があります。この町が暮らしやすく、人々が生き生きと生活していることが、町の魅力となり、多くの人が訪れ、住みたいまちになると考えます。今後とも皆様のお声を大切に、一緒に課題解決に取り組んで参ります。

令和5年6月市議会定例会 一般通告質問より

観光資源としての平砂浦海岸の活用について

千葉県関係機関と観光目線での話し合いを!

館山市の海岸線約34.3キロのうちおよそ6キロを占める平砂浦海岸は景観が大変美しく、広い砂浜には釣り人やサーファーも多く訪れています。また最近では、近隣にキャンプ場も増えていて、この海岸を観光資源として有効活用しないのはもったいないと考えます。

市からも「観光地として魅力あふれる館山をイメージするのに最適な場所の一つである」という回答をいただきました。

観光資源として活用するため、ともに取り組んでいただけることを期待します。



観光資源として有効活用が望まれる平砂浦海岸

リノベーションまちづくり事業について

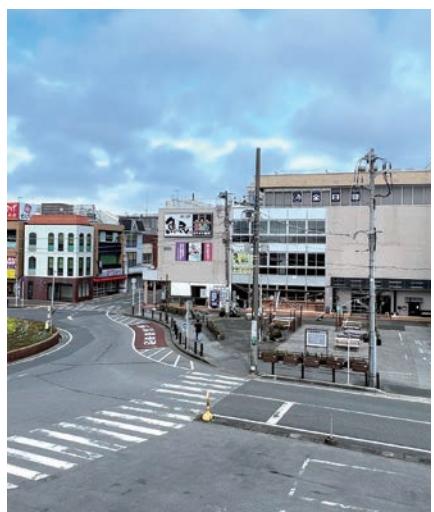
変化の見えるまちづくりを

令和3年度のリノベーションまちづくり委託事業について、「監査委員会が実行委員会がメンバーの所属する会社に再委託したことについて指摘した」と新聞報道されました。

これまで、令和5年度も含めて予算としては3,423万9千円計上されています。市は20以上の店舗が営業を開始し、活性化に繋がっているとの評価でしたが、営業を始めたものの、継続できなかった店舗も散見されます。

令和5年度は、マルシェを定期的に開催、高校生によるまちづくり部活動、空き店舗活用ワークショップ等を行政と民間が連携して推進していくとの回答でした。

今年度は予算が約1/10に削減されました。「若者が戻ってきたくなるまち」の実現を目指すためには、リノベーションまちづくり事業を継続し、成果を明らかにしながら「目で見てわかる変化」を作っていくことが大切です。



活性化が進められている館山駅東口エリア

廃校の利活用について

旧富崎小学校の優先交渉権者決まる

旧神戸小学校は解体の方向で

旧富崎小学校は、海が見える高台でとても良い立地です。利活用の優先交渉権者は、きくらげ栽培を行う「ビタミンファーム株式会社」に決まりました。地元の障がい者施設との連携を図り、高齢者の雇用、イベントの開催により地域の活性化に寄与したいとのことです。

旧神戸小学校の普通教室棟は2階へ上がる階段がベニ

ヤでふさがれ、ベランダには鳥の侵入を防ぐためのネットが貼られています。一階の昇降口には、つばめの巣がたくさん作られて、子どもたちがいたころは、ひなの巣立ちを見守っていましたが、今は汚れたままです。普通教室



旧富崎小学校

棟については解体する方向で費用等の検討を行なうそうです。

高齢者の移動支援について

安価な移動支援の仕組み作りを

南房総市社会福祉協議会ではボランティア移送サービスを行っています。館山市でも同様のサービスを始めて欲しいと考えます。高齢者は免許証を返納したら、次日から生活に困ってしまいます。

買い物シャトルバスや移動販売などの取り組みによって

助かっている方は大勢いますが、病院などへの移動はまだ課題です。すべての高齢者が安価な移動支援を受けられる仕組みが必要です。



ボランティアによる高齢者のための
買い物バス(富崎地区)

森林環境整備事業について

都市部の自治体と連携して、森林整備を

令和6年度からは国による森林環境税の徴収が始まります。森林環境譲与税の使い道やCO2削減の方法の一つとして、また都市部と山林を抱える自治体の交流などを目的として、山武市と浦安市、南房総市と習志野市の間で

は、すでに森林整備広域連携事業に関する協定が結ばれています。

館山市にも多くの山林があり、それの大半は放置されたままとなっています。それは台風や大雨による土砂崩れなどの原因の一つとなることも考えられます。

館山市も、財源を確保しながら、森林環境整備事業を、早急に始めるべきです。

令和5年第2回定例会で決まった主なこと

●一般議案について

■那古船形地区学習等共用施設(若潮ホール)の廃止

船形バイパス整備事業に伴い、若潮ホールが廃止されます。シルバーパートナーセンターは旧神戸小学校管理棟に移動することが決まっています。利用しているサークル等の団体は、コミュニティセンターなど他の施設で活動を継続できるよう、中央公民館で相談に乗っています。老人福祉センターも10月には廃止される予定です。老朽化した公共施設の再編は必要ですが、市民の活動場所をしっかりと確保して欲しいと考えます。

■公私連携保育連携型北条こども園の設置に向けて

北条幼稚園と老朽化した中央保育園を合併し、こども園化することは以前から必要とされていました。令和7年の開園を目指して、公私連携保育連携型北条こども園の準備が始まります。鴨川市でこども園OURSを運営する社会福祉法人太陽会が運営を行うことになりました。

現在の北条幼稚園の建物と敷地を無償で貸し付けます。保護者のニーズに柔軟に対応した保育が期待でき、館山市の子育て環境の魅力の一つになることを期待します。



●主な補正予算

住民税非課税世帯給付金…… 2億2,741万円
(物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への支援)

新型コロナワクチン接種費…… 2億1,100万円
(新型コロナワクチン追加接種のための費用)

学校プール整備事業…………… 9,568万円
(老朽化した北条小学校プールの建替費用)

エネルギー価格高騰対策支援給付金… 6,150万円
(燃料費高騰の影響を受けている中小企業を支援)

子どもの成長応援臨時給付金…… 5,314万円
(0歳から高校3年生世代までの子ども1人に1万円)

観光地域循環消費促進事業補助金… 2,910万円
(館山ならではのサービスの提供、クーポンなど)

給食材料購入費…………… 2,804万円
(食材費高騰による給食の質の低下を防ぐため)

が観測される場所も増え、地球温暖化による影響を肌で感じます。次の世代が安心して住み続けられるよう、CO2の削減を本気で始めませんか。



おわりに

今年の梅雨も、線状降水帯の影響により各地で大きな災害が起きています。35度を超える猛暑日

